音羽川小学校だより

11月号

令和８年１０月３０日
京都市立音羽川小学校
校　長　　阿部　正人

学校教育目標

「向上心をもち、真面目にコツコツと
仲間と共に高め合う子」の育成

音羽川小学校ＨＰアドレス　http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=109802

親から子へと受け継がれる「子育て」

以前、ある保護者の方に「子育てをするうえで大切にされていることは何ですか」とお尋ねしたことがあります。その方は、「仕事で帰りが遅くなり、疲れていることも多いのですが、ほんの少しでも子どもの話を聞くようにしています」と話してくださいました。また、「息子がハグを求めてきたら、高学年になった今でもギュッと抱きしめています」という方や、「寝る前に3分だけでも絵本の読み聞かせをするようにしています」という方もおられました。

子育てには、それぞれのご家庭の事情や考え方があります。そのため、「これが一番正しい」という方法はないのだろうと思います。本やインターネットにはさまざまな情報があふれ、何を参考にすればよいのか迷うこともあるでしょう。保護者同士で情報交換をしながら試行錯誤されている方も少なくありません。

子どもが毎日元気に登校してくれれば安心ですが、登校を渋ったり、心や体の不調を抱えたりすると、「この先どうなるのだろう」と不安になることもあると思います。それでも保護者の皆さんは、日々懸命に子育てに向き合っておられます。しかし、その努力を誰かに褒められたり認められたりする機会は、決して多くありません。

けれども、子どもたちは親の姿をしっかり見ています。学校に行けるかどうかだけではなく、自分のためにどれだけ真剣に向き合ってくれているかを感じ取っているように思います。甘えながらも、親からの愛情や安心感というエネルギーを少しずつ蓄えて成長しているのでしょう。

保護者の皆さんの中には、自分が親から受けた子育てを手本にしながら、今の子育てに生かしておられる方も多いのではないでしょうか。親が意識して行っていたことはもちろん、何気ない言動や日々の姿勢も、子どもに大きな影響を与えているものです。子どもは親の言うことよりも、親のしていることをよく見ていると言われます。

今、保護者の皆さんが取り組まれている子育ては、やがて我が子が親になったときの手本となります。言い換えれば、「子育て」は同時に「親育て」でもあるのです。忙しい毎日の中で、たくさんのことを完璧にこなす必要はありません。「親として我が子に一番伝えたいことは何か」。そのことを心に留めながら関わっていただければ、それだけで十分なのではないかと思います。

校長　阿部　正人

令和９年度入学児童（新１年生）の就学時健康診断は、１１月１８日（水）です！

１０月中旬に教育委員会から配送された就学時健康診断実施通知をご覧いただき、**同封されていた書類を記入して、就学時健康診断当日にお持ちください。**

受付時間や持ち物の詳細は、就学時健康診断実施通知でご確認ください。

ぞうきんをいただきました。



今年度も音羽川老人クラブ連合会より、手作りぞうきんをいただきました。学校中をピカピカにしたいと思います。ありがとうございました。

教職員の紹介

年度途中ですが、教育支援の教職員が着任しました。よろしくお願いいたします。

＊この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

日	曜日	１１月の行事※変更の場合があります	まなび
1	日		
2	月	委員会　４組合同運動会	×
3	火	文化の日	
4	水	２年幼保交流	○
5	木	朝会　４年能楽　１年歯磨き巡回指導②	
6	金	４年社会見学	○
7	土		
8	日		
9	月	読書週間（２０日まで）　クラブ	○
10	火	５年わくわく WORK LAND	
11	水	６年「社会を明るくする運動」発表	○
12	木	参観⑤　読み聞かせ講演会	
13	金	たてわり活動	○
14	土		
15	日		
16	月	６年山科区伝統文化能楽体験　ALT	○
17	火	１年秋見つけ（幼保交流）　ALT　選書会	
18	水	就学時健康診断　給食後完全下校	×
19	木	女性会による読み聞かせ	
20	金	６年中学校体験⑤⑥	○
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	ALT	
25	水		○
26	木	６年薬物乱用防止教室③ ４年学習発表会 14：00～15：00	
27	金	教職員研修のため、全校４時間授業	×
28	土		
29	日		
30	月	委員会	×

１２月の主な予定

４日（金）教職員研修のため、3 - 1・6 - 2 以外 13：20 完全下校
１０日（木）６年演劇鑑賞教室
１６日（水）～２１日（月）個人懇談会
２４日（水）終業式　給食終了

令和８年度全国学力学習状況調査の結果

全国の６年生を対象に実施されました「令和８年度全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。この調査では、学力調査（国語・算数）と児童への質問調査（学習面・生活面など）が行われました。本校の子どもたちの状況をお知らせします。

総合結果

本校児童の結果を全国平均と比べてみると、国語・算数共に、全ての領域・評価の観点で上回る結果となりました。

国語科より

相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える問題では高い回答率でした。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題でも力を発揮しています。しかし、比喩や反復などの表現の工夫に気付いたり、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたりする問題等に課題がありました。また、記述式の問題で無答のケースが見られました。

算数科より

全体的にできていますが、以下の分野が少し気になります。

・立方体の体積を求める式を書くこと
・数を四捨五入して、概数で表すこと
・二次元の表から、条件に合う数を読み取ること

児童質問紙より

児童質問紙の「PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめることができると思いますか」との問いに約８７%の児童が当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）と回答しています。学校では、発達段階に応じて、ICT 機器を活用しています。情報を収集したり、文章を作成したりするのはもちろんのこと、情報を整理し、プレゼンテーションにつなげることに対して、自信をもっていることがうかがえます。得意をいかす、培った力を存分にいかすなど、頑張っていることを様々な学習活動の場面で活用できるよう、さらに授業を構築していきたいと思います。



音羽中学校ブロック（音羽中・音羽小・大塚小・音羽川小）の到達目標と各校の教育目標関連として、獲得すべき力「社会人基礎力」を掲げています。この「社会人基礎力」は、大きく３つの能力と１２の要素で構成されており、社会で求められる力として経済産業省が提唱しています。

「前に踏み出す力」・・主体性・働きかけ力・実行力
「考え抜く力」・・・・課題発見力・計画力・想像力
「チームで働く力」・・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力

自分らしくより豊かに生きていくために、そして、仲間と共に生きていくために大切なこれらの力の育成は、学校だけでなく、あらゆる場をフィールドとしてとらえ、幅広く身につけていくことがとても重要です。

質問紙では、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という問いに対して、「あてはまる（「どちらかといえば、あてはまる」を含む）」と９０%以上の子どもたちが回答しています。自分の思いや考えをもちつつも、違う考えや意見に耳を傾け、いったん受け入れて考えることは、簡単なことではないと思いますが、柔軟な考え方から、新たな気付きや発見があったり、豊かな発想が広がったりします。仲間と共に高め合っていくことで、より豊かな学びを展開してほしいと思います。

今後も、様々な学習や体験活動等を通して、子どもたちの学びと育ちを支えていけるよう、取組を進めていきます。

保護者の皆さまへ



全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していきます。また、基本的な生活習慣や日々の学習習慣が、学力の基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。